

## 5 交通局における利用促進に係る取組（主として平成20年度以降）

項目	内容	実績等
路線・ダイヤの見直し	開発等に伴う路線の設定	<p>JR尼崎(北)の開発状況を踏まえ、利便性の高い短絡的な経路の路線を設定</p> <p>【平成22年8月1日実施】 58番（阪急塚口～JR尼崎(北)） 阪急バス(株)と共同運行 48-2番（阪急武庫之荘～JR尼崎(北)）</p> <p>戸ノ内開発に伴うバス転回所整備による路線の延伸</p> <p>【平成21年1月24日実施】 暫定延伸 21-2番、23番 【平成25年4月1日実施】 最終延伸 21-2番、23番</p> <p>臨海南西部の企業進出に伴う路線運行及び他事業者との共同運行の実施</p> <p>【平成17年11月1日実施】 60番路線の新設 【平成20年10月15日実施】 85番経路の阪神バス(株)との共同運行</p>
	停留所の新設	<p>利用者からの要望等を踏まえた停留所の新設</p> <p>【平成20年度】 県立尼崎病院北行き新設 【平成22年度】 市民健康開発センター及び阪神水道前新設</p>
	鉄道接続等を勘案したダイヤ変更	<p>乗客の利用実態を踏まえた鉄道との乗継をよりスムーズにするためのダイヤ変更や同じ方面に向かう路線の運行間隔等のダイヤ調整</p> <p>【平成20年度】 阪神尼崎起点ダイヤ 等 【平成22年度】 阪急武庫之荘、阪急園田、阪神尼崎起点ダイヤ 【平成23年度】 JR猪名寺、阪神出屋敷起点ダイヤ 【平成25年度】 阪急塚口起点ダイヤ 等</p>
	終発時刻の繰り下げ	<p>利用者の要望などを踏まえ、終発ダイヤの繰り下げを実施</p> <p>【平成21年12月】 平日4路線で実施 【平成23年3月】 土曜3路線で実施 【平成26年3月】 平日2路線で実施</p>
	始発時刻の繰り上げ	<p>利用者の要望などを踏まえ、始発ダイヤの繰り上げを実施</p> <p>【平成23年3月】 平日2路線で実施 【平成26年3月】 平日2路線で実施</p>
	他事業者との停留所名の統一等	<p>他事業者と連携する中で、同じ場所にあるのに異なる停名であったり、似たバス停名であるにも関わらず離れた場所にあるバス停について、停留所名の統一化や変更を実施し、より利用しやすい環境をつくる。</p> <p>【平成22年度】 5箇所変更実施 【平成23年度】 1箇所変更実施</p>

項目	内容	実績等	
わかりやすいインフォメーションの充実	停留所での相互案内の実施	他事業者と隣接する停留所において、相互にそれぞれの路線の運行方面等を案内することにより、利便性を高め、利用促進を図る。	【平成21、22年度実施】 阪神杭瀬、労災病院等8停留所で実施
	あまっこおまかせバスガイド等の作成	公共交通の利用促進を図るため、市内の他事業者も含めた全路線を掲載した「えきバスマップinあまがさき」、市営バスの乗り方や運行所要時間等を分かりやすく掲載した「あまっこおまかせバスガイド」、バスロケーションシステムの使い方を解説した「あまっこガイドのかしこい使い方」を発行。	【平成22年度】 「えきバスマップinあまがさき」 15,000部 「あまっこおまかせバスガイド」 10,000部 「あまっこガイドのかしこい使い方」5,000部 【平成23年度】 「あまっこおまかせバスガイド」 10,000部 【平成24年度】 「えきバスマップinあまがさき」 15,000部 「あまっこおまかせバスガイド」 5,000部
	時刻表ポストの設置	市営バスの利用促進を図るため、ターミナル等に時刻表入りのポストを設置し、市民・利用者に時刻表を配布する。	【平成23年2月】 8箇所 【平成24年1月】 13箇所 【平成26年3月】 13箇所
	老人クラブへのアンケート実施及び時刻表の配布	市内の老人クラブにアンケートを送付するとともに、アンケート回答者で時刻表の送付を希望される方に対して該当停留所の時刻表を送付し、利用促進を図る。	対象：市内390の老人クラブ 【平成22年度実施】 アンケート及び時刻表送付 【平成23年度実施】 時刻表送付
	バスロケーションシステムの導入	バス利用者にパソコンや携帯電話、ターミナル表示機で、バスの運行状況の情報等をお知らせし、より便利で快適にバスを利用していただくことにより利用促進を図るため、バスロケーションシステム（あまっこガイド）を導入する。	【平成18年3月導入】 参考：平成25年度アクセス数 約54万件
	公共交通機関への転換	マイカーから環境にやさしい公共交通機関への利用促進を図るため同伴者の割引等に関する制度を拡大する。	【平成22年8月実施】 土曜及び日祝のダイヤにおいて、通勤定期利用者の同伴者の運賃について、大人・小児について半額であったファミリー環境定期制度について、大人半額、小児無料に制度を拡大 【平成26年4月実施】 同伴者のいる未就学児について同伴者1人つき1人無賃としていたものを、2人まで無賃に制度を拡大

項目	内容	実績等
魅力ある乗車料制度等の実施	タイアップ店舗とのサービス	市内の店舗とタイアップし、市営バスの利用者がタイアップ店舗において料金割引等のサービスを受けられるようにすることにより、利用促進を図る。  【平成22年度実施】 平成23年6月 対象券種の拡大 参考：50店舗と提携（平成26年10月現在）
	回数カードの車内販売	これまで委託販売所、自動販売機、サービスセンター等で販売していた回数カードを、利用者が購入しやすいようバス車内で販売する。  【平成23年2月実施】 平成25年度販売実績 約6万枚
	企画乗車券の販売	尼崎市と阪神電鉄㈱の共催により実施された「忍たま乱太郎 デジタルスタンプ&クイズラリー」の実施にあわせ、「忍たま乱太郎」デザインの全線1日乗車券を販売し、利用促進、話題づくりを行う。  販売期間：平成23年7月～9月 販売枚数：1,753枚
施設の改善	停留所上屋・ソーラー式標柱の増設	停留所上屋及びソーラー式標柱を増設することにより、快適なバス待ち空間を提供し、利用促進を図る。  <停留所上屋設置数> <ソーラー式標柱設置> 【平成20年度】2箇所 【平成20年度】1基 【平成21年度】3箇所 【平成21年度】2基 【平成22年度】3箇所 【平成22年度】2基 【平成23年度】1箇所 【平成23年度】1基 【平成24年度】0箇所 【平成24年度】1基 【平成25年度】0箇所 【平成25年度】1基
	サービス介助士の資格取得	サービス介助士2級の資格取得により、高齢者や障がい者に対する接し方、介助技術を習得し、乗客に対するサービス向上を図り、利用促進につなげる。  【平成21年度】 15名資格取得 【平成22年度】 10名資格取得 【平成23年度】 20名資格取得 【平成24年度】 20名資格取得 【平成25年度】 20名資格取得
	市営バス添乗モニターの実施	市民・利用者から広く市営バス添乗モニターを募集し、提出いただいた報告書のもとに、お客様目線でのサービス向上につなげ、利用促進を図る。  (モニター数) 【平成22年度】 18名 【平成23年度】 14名

項目	内容	実績等
車内等の快適性の向上	お客様の声八ガキの実施	<p>【平成22年度】 1,210通  【平成23年度】 613通  【平成24年度】 839通</p> <p>(意見を踏まえ改善した内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園田競馬開催時の迂回運行のお知らせ掲示</li> <li>・タイアップ店舗の券種拡大</li> <li>・電車との接続向上のためのダイヤ改正</li> <li>・始終発時刻の延長 等</li> </ul> <p>お客様の声八ガキについては、お客様の意見等を一定集約できたことから平成24年度をもって終了</p>
その他の取組	1日バス教室等の実施	<p>子供に市営バスとのふれあいを通じ、市営バスへの愛着を持ってもらうとともに、将来的な利用促進等につなげるため、小学校に乗合車両を持ち込み、生徒にバスの役割等を説明。平成23年度からは交通安全の視点も加えた「1日バス安全教室」も実施予定</p> <p>平成12年度から開始  (実施校)  【平成20年度】 2校  【平成21年度】 4校  【平成22年度】 4校  【平成23年度】 4校 (うち1日バス安全教室1校)  【平成24年度】 1校  【平成25年度】 2校</p>
	市営バスグッズの販売	<p>これまでバスまつりや市民まつりなどのイベント時において販売していた市営バスグッズについて、市バスサービスセンター及び営業所での販売に加え、平成22年度からインターネットを利用した通信販売も実施し、市民等に市営バスに親しみを持ってもらいながら、利用促進につなげる。</p> <p>(グッズ売上)  【平成20年度】 799千円  【平成21年度】 1,008千円  【平成22年度】 1,006千円  【平成23年度】 540千円  【平成24年度】 316千円  【平成25年度】 277千円</p>

(参考) 今後予定されている市内の開発状況等

- ・ 県立総合医療センターの開院
- ・ J R 尼崎アンダーパスの開通
- ・ 尼崎宝塚線 (国道 4 3 号線以南) 拡幅
- ・ J R 塚口周辺の開発